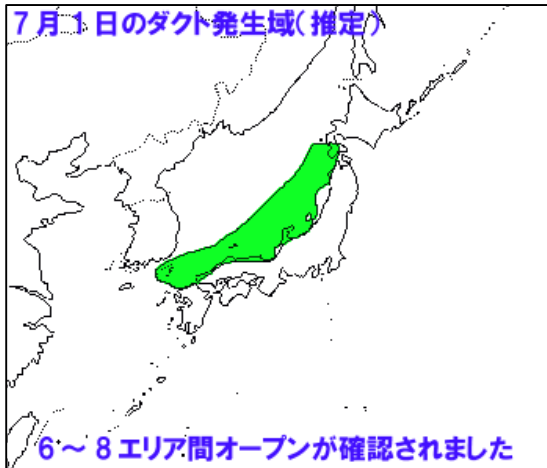


日本付近が高圧部となりダクト発生！

2004年7月 1日 JG0TEV 中村

勢力が強乾燥空気を伴った移動性高気圧が本州付近を通過したことによって、日本海ダクトが発生連日に渡るオープンが確認されました。



ダクト発生による6～8エリア間オープンが確認されました。

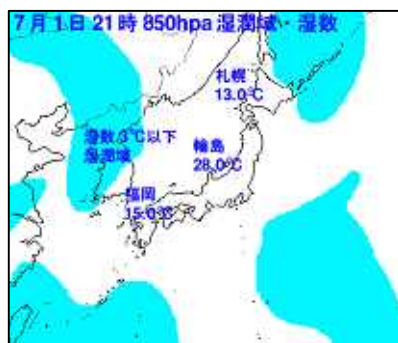
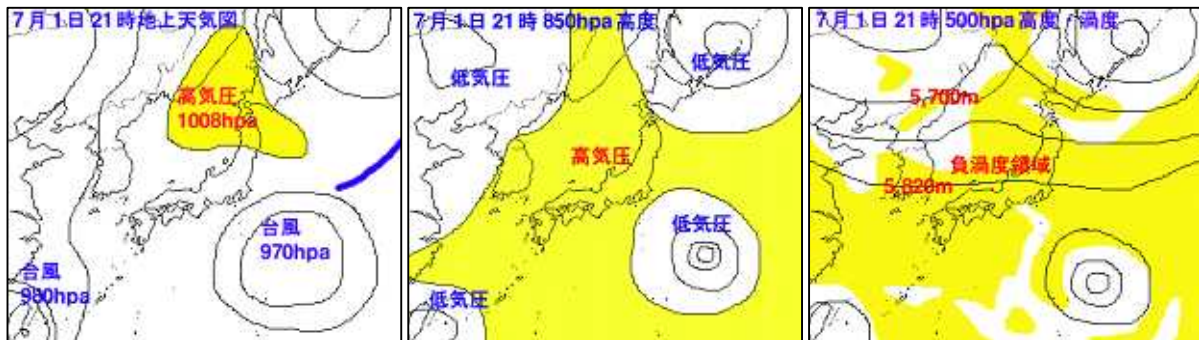
JR4MDA大村さんからのオープン情報・・・
午後2時半現在6は対馬、8は檜山いずれもオープン。
どこまで続くでしょうか(14:39)
7の秋田辺りは中抜け状態になっていますが、
8の檜山レピーター、9の石川、福井、0の佐渡
何れもまだ開いています。(22:47)

気象解析

地上天気図では本州の南海上、台湾付近に台風、中国大陸は低圧部となっていて、日本海に高気圧が解析されている。大気の流れとしては日本付近は下降流となって周辺に対して空気の吹き出しが発生しやすくなっている。

850hpa面の1,440mの等高度線で囲まれる領域が日本付近を覆っていて、日本海には高気圧が解析されている。500hpa面の5,700mの等高度線は沿海州まで北上していて、日本付近にはリッジが解析されている。

以上から、本州付近は背の高い高気圧に広く覆われていたと解析できます。



850hpa面の湿数を見ると、札幌、輪島、福岡上空で湿数10 を越えていて、乾燥空気が流れ込んでいることがわかる。

以上から、日本付近の上空には乾燥空気による下降流が発生しやすくダクト発生条件がそろいやすい環境であったと解析します。